

## 園児の願いを乗せバスは走る

26日、関東バス阿佐谷営業所（杉並区下井草 1-5-3）では、地元の保育園児 14名を招き交流会が開催されました。この企画は、昨年につき2度目で、バスを身近に感じてもらいたい、バス会社も地域の一員として地域と交流を深めたいと始められました。この日は、約1時間に渡り、園児の願い事を書いた短冊を車両内に掲示したり、バスに関する質問コーナーなどで楽しい時間を過ごしました。

関東バス阿佐谷営業所の古川豪副所長は、190センチはあろうかという大きな体がかがめて、子どもたちの話を笑顔で聞いています。この日の交流会は、バス会社が乗客の安全輸送はもちろんですが、それ以前に地域の一員として、人間と人間のつながりやいざという時に助け合えるような関係を築きたいという古川副所長の考えで開催されました。副所長は、若いときからこういった思いを持っていましたが、なかなか実現できませんでした。しかし、阿佐谷営業所に赴任し、この思いを打ち明けると同僚の多くから理解を得られ、昨年七夕とクリスマスの時期に、保育園の園児たちを招いて交流会をやることになりました。こうした交流会は、もちろんバスの中です。七夕飾りやクリスマス飾りを施したバスで、笑顔の会話を乐しみます。園児たちには、それぞれ七夕の願い事やサンタさんへの願い事を短冊に書いて持ってきてもらい、それをバス車内に掲示してきました。

26日午前10時、地元の本天沼保育園の年長クラスの14名が、営業所を訪れました。この日のために、七夕の願い事を手に、バスに乗り込みました。バスには、すでにバス会社の社員らによって、笹や網飾りといった七夕の飾り付けがあり、そこに園児たちの「すいかのおうちにすみたい」「さかなをつりたい」といった願い事が飾られました。もっとも盛り上がりを見せたのは、バスの洗車です。園児を乗せたまま、洗車機に入ると園児たちは大喜びしていました。

この園児たちの願い事を乗せたバスは、7月14日まで荻窪と中村橋を結ぶ路線で運行されます。この路線には、だいたい10台のバスが使用されているので、1割の確率で、この七夕飾りや願い事を目にするようになります。古川副所長は、「地域の子どもたちの健やかな成長を地域全体で見守っていきたくです」と話していました。



### 【問い合わせ先】

関東バス阿佐谷営業所：03-3399-3185